

広報 [かすみがうら市・石岡市・小美玉市]

国道6号バイパス

2016年4月1日号
発行／国道6号バイパス
建設促進期成会
事務局／石岡市都市建設部
都市計画課



▲発掘調査遺跡現場説明会（東田中遺跡）



▲東田中遺跡

埋蔵文化財の発掘調査が実施されました

国道6号千代田石岡バイパス建設事業に伴う文化財保護法に基づく東田中遺跡の発掘調査が実施されました。平成27年11月29日には、現地説明会が開催され180名を超える来場者がありました。

今回の調査では、縄文時代中期（約4500年前）の竪穴式住居跡や袋状土坑が発見されました。古墳時代（約

1600年前～1500年前）の住居跡からは、ほぼ完全な形の土器の甕が出土しました。また、平安時代の住居跡も確認され、縄文時代から平安時代に至るまで断続的に集落が営まれてきたこの場所は住みやすい環境だったことがうかがわれます。

千代田石岡バイパス完成予想



▲完成予想図（恋瀬川付近）



▲完成予想図（東田中付近）

国道6号
千代田石岡
バイパスって
どんな
道路なの？

土浦市から石岡市までの国道6号は、日交通量が約4万台に達しており、常磐道千代田石岡IC付近及び石岡市街地では慢性的な交通混雑が発生し、追突や出会頭の事故といった渋滞や沿道利用を要因とする交通事故が多発しています。

国道6号千代田石岡バイパスの整備により、石岡市内に混入する通過交通を分散させることで、交通渋滞の緩和や安全性の確保、さらには茨城空港へのアクセス時間の向上など、物流機能の強化や地域産業の振興に大きな効果が期待されます。

編集
後記

国道6号千代田石岡バイパスの整備は、少しずつではありますが完成に向けて着実に前進しています。本広報紙をきっかけとして、皆様により一層の興味や関心を抱いていただけたら幸いです。当期成会では、一日も早い事業完成を目指して、今後も積極的な要望活動を行ってまいります。

問合せ先

石岡市都市建設部都市計画課 ☎0299-23-1111
かすみがうら市土木部都市整備課 ☎029-897-1111
小美玉市都市建設部幹線道路推進課 ☎0299-48-1111



▲東田中高架橋(上部工完成)

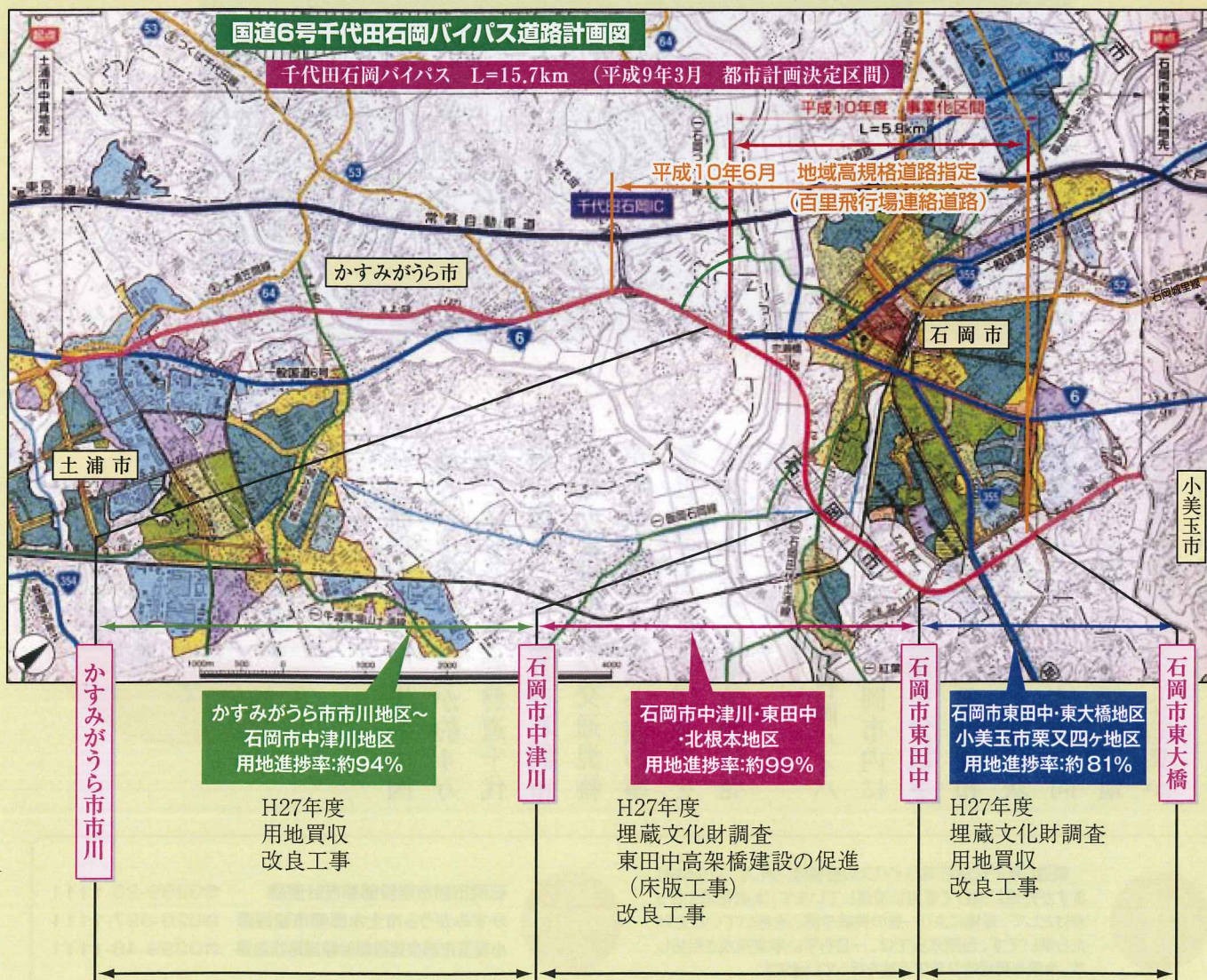
国道6号千代田石岡バイパスは、土浦市中貫く石岡市東大橋までの15.7km区間について都市計画決定され、そのうち、かすみがうら市市川く石岡市東大橋までの5.8km区間が事業化されており、現在、国土交通省により事業が進められています。

昨年度に引き続き、東田中高架橋（JR跨線橋）の工事を行い、上部工が完成しました。また、道路改良工事が引き続き行われています。

工事が進んでいます

事業の進捗状況

※用地買収の進捗率は、平成28年1月末現在（面積ベース）のものです。



▲中央要望(国土交通省)



▲中央要望(関東地方整備局)

国道6号千代田石岡及び美野里バイパスの整備促進を要望しました

国道6号バイパス建設促進期成会では、平成27年8月7日に国土交通省、関東地方整備局及び財務省の関係機関や、地元選出の国会議員に対して要望書を提出し、当事業における事業費の確保や整備推進、残区間の事業化等、さらに美野里バイパスの早期都市計画決定についての要望活動を行いました。

当期成会の今泉文彦会長（石岡市長）は、各省庁等の対応者との面会に際し、石岡市周辺部の国道6号の慢性的な交通渋滞の発生により、地域産業や観光の振興に大きな支障となっている状況や、渋滞回避の車が沿線住民の生活道路に流入し、地域の安全確保に不安を抱えている状況について説明し、当路線の一日も早い完成を訴えました。

これを受けて、国土交通省 森昌文道路局長は、「着手して10年に出来上がるのが基本ですが、国道6号千代田石岡バイパスは15年も経っています。着手した以上は出来るだけ早く供用させたいと思っています。ただ、こちらとしても用地買収がある程度進まないとい何年に開通するのかなかなか言えない実態であるので、ぜひとも地域の支援をしていただければ」とし、当事業の推進に積極的な理解を示されました。

今回の要望活動により、事業の進展に大いに弾みがつくものと期待しております。

また、当期成会では、国道6号千代田石岡バイパス早期完成に向け、今後も継続的な要望活動を実施して参ります。